再質問の方式
1　一括質問一括答弁方式
②　一問一答方式

小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名　国民健康保険財政運営と市民への広報の在り方について

質問要旨　（初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください）

現在、国は国民健康保険の財政運営の安定化と都道府県内での保険料水準の統一・平準化を目的とし、法定外繰入の解消を求めています。また、東京都においても同様に進められ、小平市においても 2034 年度までに法定外繰入を解消するため、2 年に 1 度の税率改定を行う計画になっています。2026 年 7 月発行の小平市国保だより特別号では、「～知ってほしい、保険と健康のこと～」をタイトルに、国民健康保険財政について漫画を活用して説明しています。その説明では、1 面から「国保に加入していない人も国保税を払っているようなものなのよ」と国民健康保険加入者と社会保険加入者を分断するような表現になっていると感じます。2 面で男性がつぶやいているように、国民健康保険の加入者は、高齢者や会社を退職した人が多く、そのために加入者の平均年齢や 1 人当たりの医療費は、社会保険と比較して高くなっています。被保険者の納めた保険料だけでは足りず、一般財源から法定外繰入をしている状況です。社会保険加入者も退職後は国民健康保険に加入し、だれもが医療を受けられるセーフティネットとして、国民健康保険は大変重要です。加入者が負担する国民健康保険税の高さはかねてから指摘されており、今回さらに引き上げられる説明として、この国保だより特別号の表現では、市民の間に分断を生みかねません。市の国民健康保険についての認識と広報の在り方について以下質問します。

1. 国保だより特別号で、市民に伝えたかったことは何かについて伺います。

2. 国保だより特別号に、国民健康保険の役割や、国民健康保険税額の推移や値上げの根拠となる医療費の推移が説明されていないのはなぜですか。 また、また国民健康保険税額と医療費がこの 7 年間でいくら上がったかについても伺います。

3. 収入と家族構成が同じ程度の世帯で、加入保険が国民健康保険の場合と社会保険の場合とでは、自己負担がどれぐらい違うと認識していますか。

4. 市の考え方として、単に一般会計からの繰り入れを減らすことが目的なのか、それとも国民健康保険制度の持続可能性、医療保障を守ることが目的なのか明確にお答えください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2026 年 11 月 12 日　小平市議会議長　殿　　小平市議会議員　氏名　柴尾ひろみ

受付番号【　　】

27	26	25	24